

ドアクローザ取扱説明書 700series

お願い

1.取付をされる業者の皆さまへ

本書は必ず御施主様、又は御入居者様へお渡し下さい。

2.御施主様・御入居者様・管理者様へ

弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。

製品を正しくご使用いただくために、この「ドアクローザ取扱説明書」をよくお読み下さい。

いつでもお読みになれるように大切に保管して下さい。

1.ドアクローザの機能説明とお願い

1) この製品は、ドアを自動的に閉じるためのもので、油圧によりゆっくり閉じる構造になっています。

季節の温度変化や窓等の開閉によって、誘発される屋内の気圧の変化などにより、ドアの閉じる速度が変わることがあり、極端に速度が速くなるとけがをすることがありますので注意して下さい。

ドアの閉じる速度は、閉扉速度調整バルブによりコントロールすることが出来ますので、取付説明書に記載した方法で調整して下さい。

又、閉じかけているドアを閉じる方向に強く押したり引いたりしないで下さい。強制的な閉扉操作はドアクローザ本体内部の油が漏れたりして、閉扉速度が調整不能となる原因になります。

2) ドアクローザ本体から油が漏れたり、部品が破損した場合には、まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、又は販売店様に修理、交換依頼をして下さい。油漏れは放置しておく、閉扉スピードのコントロールが効かなくなり事故につながるおそれがあります。

3) ドアクローザは分解、改造しないで下さい。中の部品が飛び出して思わぬ怪我をしたり、正しく組み立て直す事が出来なくなります。

2.お手入方法

1) 本体及びアームなどの取付ネジに緩みが生じていないか時々点検して下さい。緩んでいた場合はネジを締め直して下さい。

2) 腐蝕予防のために本体及びアームは時々掃除をして下さい。又、結露が生じた場合は乾いた布で拭いて下さい。

3.異常を感じられた際の対処方法 (調整が難しい場合は、まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、又は販売店様にお問い合わせ下さい。)

現 象	考えられる原因	点検箇所	対処方法
ドアの閉じる速度が徐々に速く、又は遅くなった	季節の温度変化など	閉扉速度調整バルブ	閉扉速度調整方法を参照願います。
ドアの閉じる速度が急に速くなった	油漏れ	ドアクローザ本体	まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、又は販売店様に交換依頼願います。
ドアの閉じる速度が急に遅くなった	油の流れが悪い	閉扉速度調整バルブ	閉扉速度調整方法を参照願います。
閉じる際「バタン」と大きな音がするようになった	ネジの緩み	取付ネジ	ネジを締め付けて下さい。
	油漏れ	ドアクローザ本体	まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、又は販売店様に交換依頼願います。
	ラッチング機能が強すぎる	ラッチング調整バルブ	ラッチング調整方法を参照願います。
ドアが所定の開放位置で止まらなくなった (ストップ付)	ストップネジの緩み	ストップ装置	ストップ角度調整方法を参照願います。
ドアがスムーズに閉まらなくなったたり異音がするようになった	ネジの緩み	取付ネジ	ネジを締め付けて下さい。
	1,2速のバランスが悪い	閉扉速度調整バルブ	閉扉速度調整方法を参照願います。

NEW★STAR 日本ドアーチエック製造株式会社

SINCE 1919

東京本社 / 〒110-0012 東京都台東区竜泉一丁目27番9号 TEL(03)3871-1411(代)
(ニュースター東京ビル)

大阪本社 / 〒544-0014 大阪市生野区巽東三丁目17番10号 TEL(06)6758-1251(代)

札幌支店 / TEL(011)851-8255~6

北陸支店 / TEL(076)243-2120(代)

名古屋支店 / TEL(052)981-7531~2

福岡支店 / TEL(092)271-5491(代)

仙台営業所 / TEL(022)284-7501

静岡営業所 / TEL(054)238-2751

広島営業所 / TEL(082)877-1611~2

高松営業所 / TEL(087)843-1212~3

このドアクローザはドアを自動的に閉じる為の機械です。

安全に長くご使用頂く為に、以下の「注意事項」をよくご理解頂き、正しくお取扱い下さい。

《注意事項》

1. 油が洩れるとドアが勢いよく速く閉まり、指をはさんだりドアとの接触事故を起す危険があります。
本体に油のにじみや洩れが発生し、速度調整をしても油圧が効かず、ゆっくり閉まらなくなった場合は、速やかに修理、交換して下さい。
強制的な閉扉操作は油が洩れる等の不具合の原因になります。
閉扉中のドアを無理に速く閉めないで下さい。
2. 閉扉速度は調整バルブを左右に回し適正速度に調整して下さい。
緩め過ぎると油が洩れるので、調整バルブを本体の表面より出さないで下さい。第一及び第二速度の差を極端に大きくすると、故障の原因になります。
※90°から閉まる迄の適正閉鎖時間は5～8秒です。(ドア幅が900mmの場合)
3. 取付け、据付け時に叩き込まないで下さい。
4. 水のかかる場所（プール、浴室、外部等）には使用しないで下さい。
5. 強風が吹いている時やドアを急に開閉すると、指をはさんだりドアとの接触事故を起す危険があります。
開放限度角度以上に開くとドアや壁等の損傷、本機が破損しドアが転倒する大きな事故が発生する危険があります。
風の強い場所には、カタログ表示より1ランク上の品番をお使い頂き、風除室、戸当りの設置や一方開きにする等の安全措置を講じて下さい。
6. ドア及び金物にぶら下がって遊ばないように注意して下さい。
7. 吊金具により、開閉力は変わります。

《施工時のお願い》

1. ドアを安全に開閉出来るよう、枠及びドアの補強（裏板）は強固に設置して下さい。
2. 取付け、据付け時に叩き込まないで下さい。主軸、アーム、トップピボットは折損事故につながるので削らないで下さい。
3. 金物の取付ネジは緩まないように、しっかりと締付けて下さい。

《安全管理の点検》

《注意事項》に加えて、次に示す項目を点検して下さい。

1. 金物がスムーズに作動するか。
2. 変形、破損、音鳴り、ガタツキがないか。
3. 取付ネジの緩み、脱落がないか。

商品保証について

弊社の製品に関し、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に故障、損傷などの不具合(以下「不具合」といいます)が発生した場合には、まず、お取扱いの建築会社様、工務店様、又は販売店様に修理、交換をご依頼下さい。

保証期間

建築会社様よりの引渡し日(注1)(注2)から2年間。

(注1) 改修工事の場合は、改修部分の工事完了日とします。

(注2) 分譲住宅(建売住宅)・分譲マンションの場合は、建築主様への引渡し日とします。

保証内容

取扱説明書、又はその他の記載事項に基づく適正な使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項を除き無料修理、交換いたします。

ただし、本来の使用目的以外の用途に使用された場合は保証の対象にはなりません。

免責事項

保証期間内でも、次の様な場合には有料修理、交換になります。

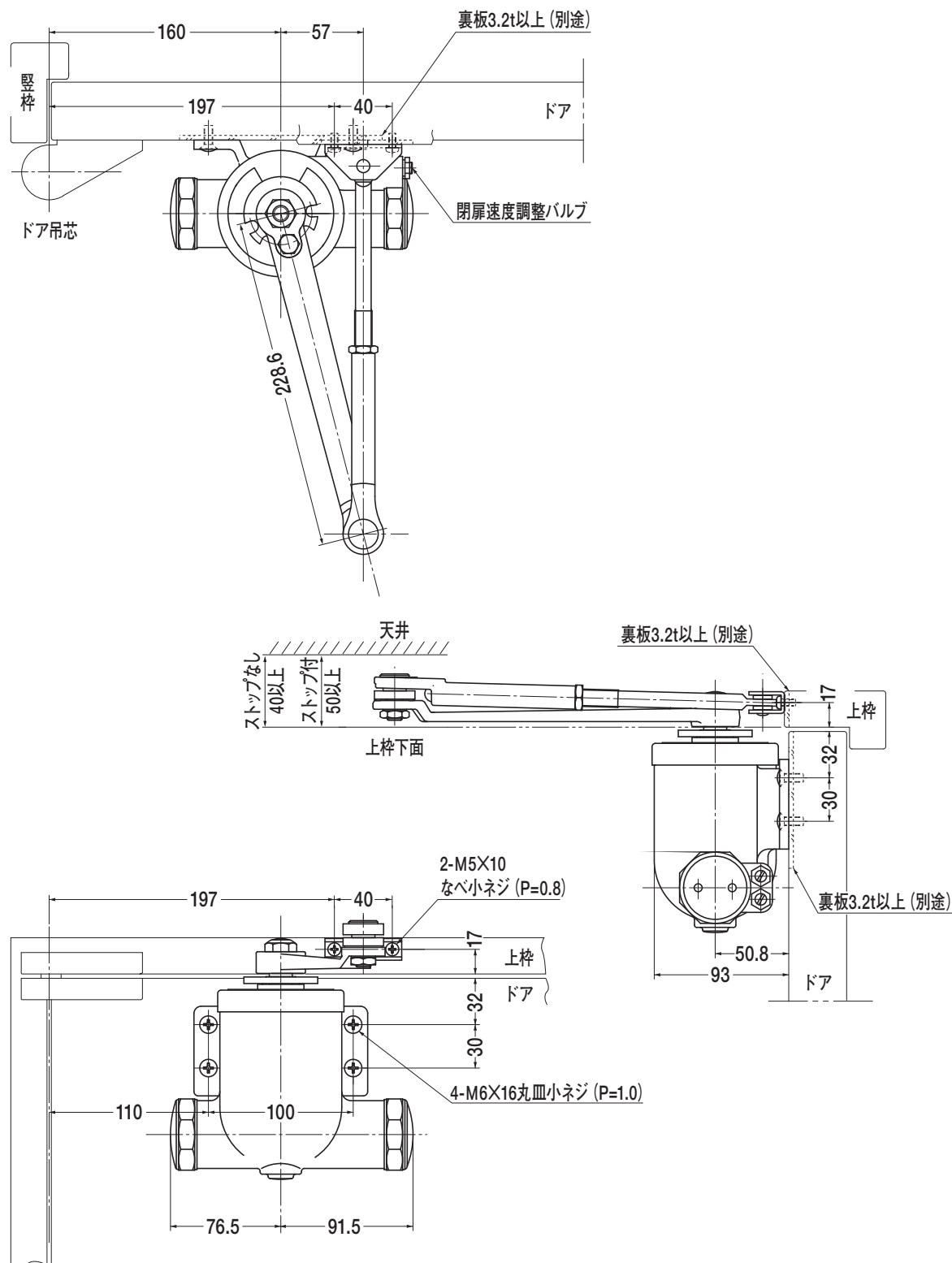
- ①施工要領書などに基づかない施工の不備に起因する不具合
- ②製品の性能、又は適用範囲(ドアの重量、サイズ、開閉回数など)を超えたドアの使用、又は超えた場所に取付けられたことに起因する不具合
- ③窓の開閉などによって誘発される屋内の気圧の変化に起因する不具合
- ④建築躯体の変形などに起因する不具合
- ⑤結露及び雨がかりによる錆、カビ、変色、腐食などの不具合
- ⑥製品、又は部品の経年変化(使用頻度が高いことに伴う著しい消耗、摩耗など)や経年劣化(使用頻度が高いことに伴うゴム部品・樹脂部品の変質、変形、変色など)、又はこれらに伴うドア開放時の停止不能などの不具合
- ⑦製品周辺の自然環境、住環境などに起因する腐食、又はその他の不具合
(例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起る腐食。異常な高温・低温・多湿及びオゾンガス環境下による不具合など)
- ⑧天災その他の不可抗力(例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、津波、噴火、洪水、地盤沈下、火災など)に起因する不具合
- ⑨引渡し後のドアの操作誤り、ドアクローザの調整不備、又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
- ⑩お客様自身の修理、改造などに起因する不具合
- ⑪犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合

※保証期間経過後の修理、交換などは有料とさせていただきます。

※お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理、交換、その他についてご不明の場合は、最寄りの弊社支店・営業所にお問い合わせ下さい。

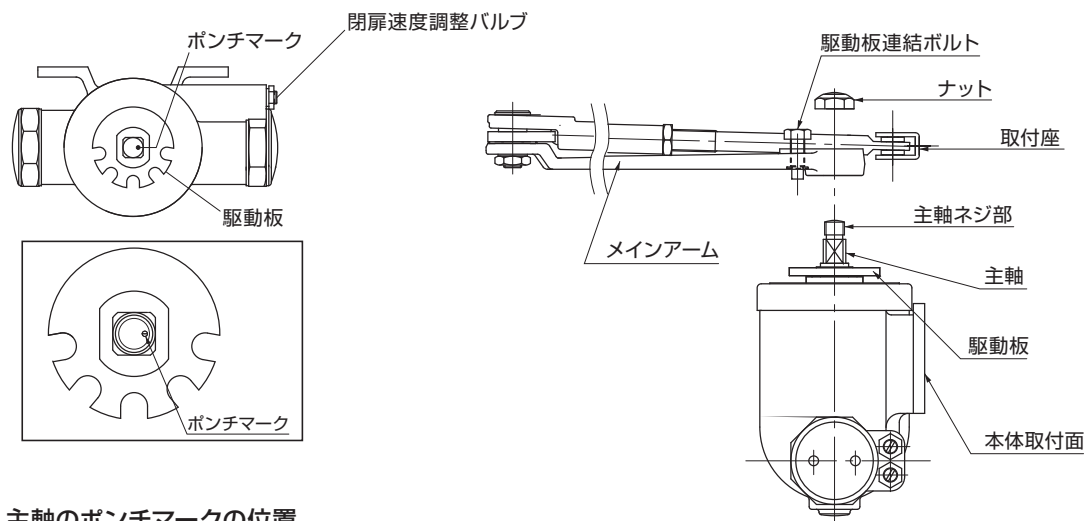
本書は必ずお施主様にお渡し下さい。

品 番		適用ドア寸法 DW×DH mm	ドア重量 以下
スタンダード型			
ストップなし	ストップ付		
702	S-702	900×2100	45
703	S-703	950×2100	65



本製品の本体は、油圧機構と駆動機構が独自になっており、連動されていません。
 主軸は油圧装置に、又駆動板は駆動装置に連結されています。
 二つの装置をメインアームの駆動板連結ボルトで駆動板にセットする事により、
 一体化され、初めてドアクローザの機能を発揮します。

■取付要領



① 主軸のポンチマークの位置

主軸のポンチマークを閉扉速度調整バルブ側に向けて下さい。

② 主軸にアームをセット

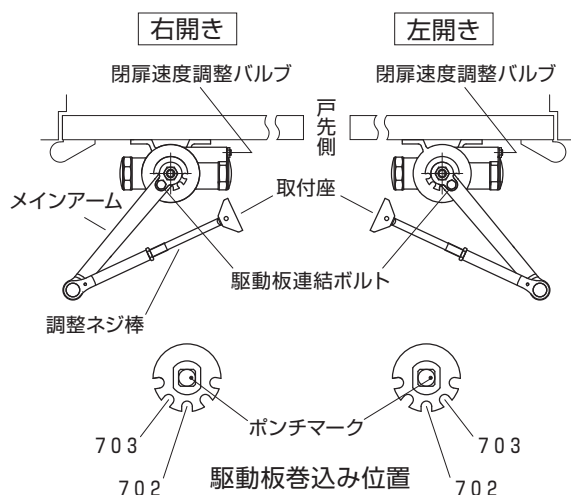
主軸にメインアームを本体取付面と垂直に差込み、六角ナットを締付けます。

③ メインアームと駆動板のセット要領

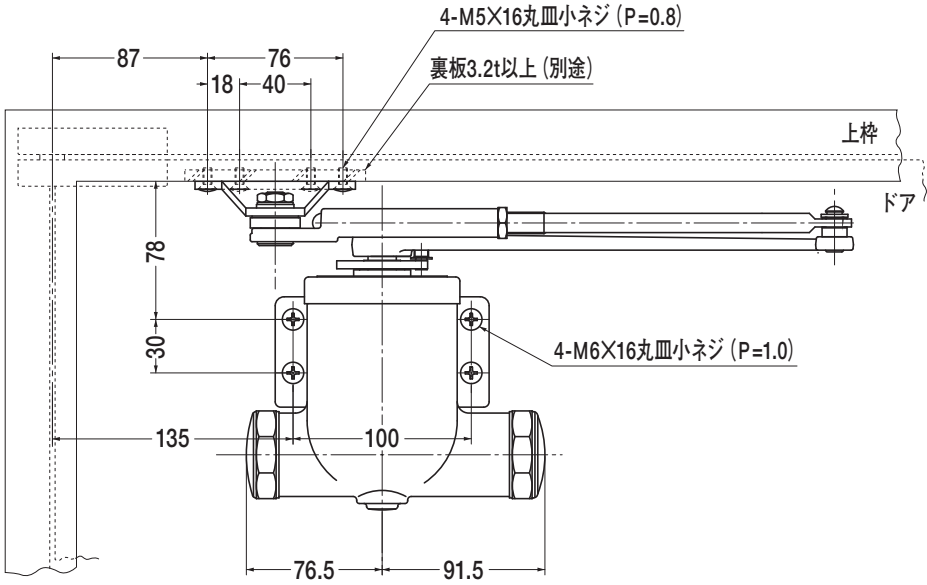
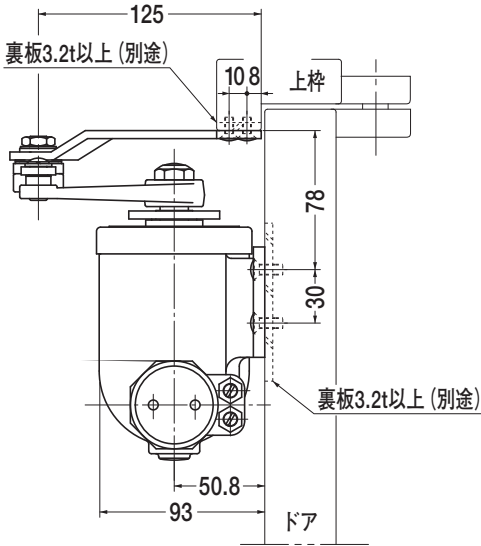
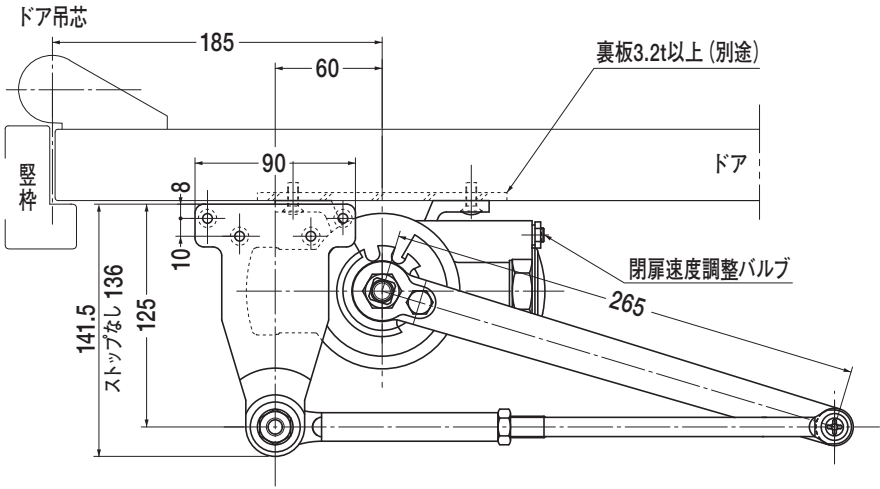
本体をドアに取付後、メインアームを駆動板の巻込み位置まで回転させ(702は巻込み不要)、メインアームに付いている駆動板連結ボルトを駆動板の凹部に締めます。

④ 取付座の取付

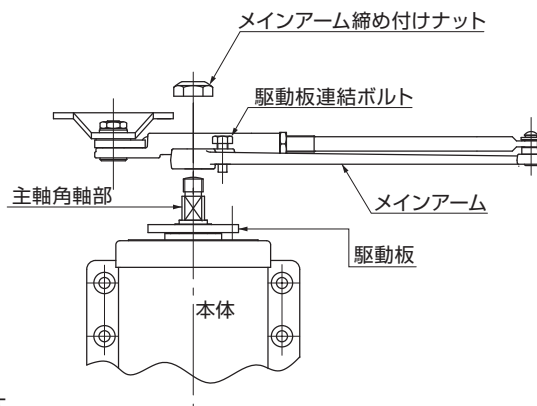
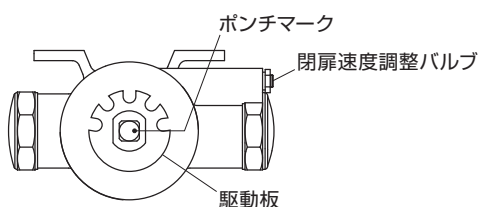
メインアームを戸先方向に回転させて取付けて下さい。



品 番		適用ドア寸法 DW×DH mm	ドア重量 以下
パラレル型			
ストップなし	ストップ付		
P-702	PS-702	900×2100	45
P-703	PS-703	950×2100	65



■取付要領



① 主軸のポンチマークの位置

主軸のポンチマークを閉扉速度調整バルブ側に向けて下さい。

② 主軸にアームをセット

主軸にメインアームを戸先側に差し込み、六角ナットを締め付けます。

注) 開き勝手により、アームの差し込み方向が変わります。

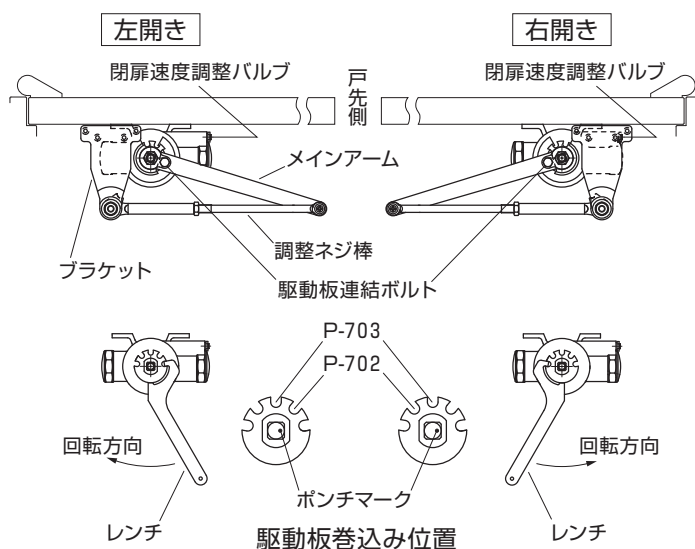
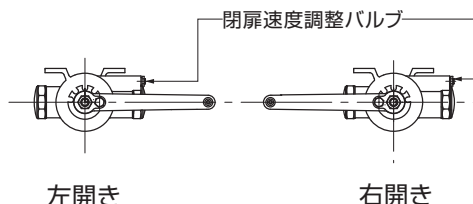
③ 本体及びブラケットの取付

本体をドアに取付後、ブラケットを上枠に取付け、枠側アームがドアと平行になるよう調整ネジ棒を調整し、メインアームと枠側アームを連結して下さい。

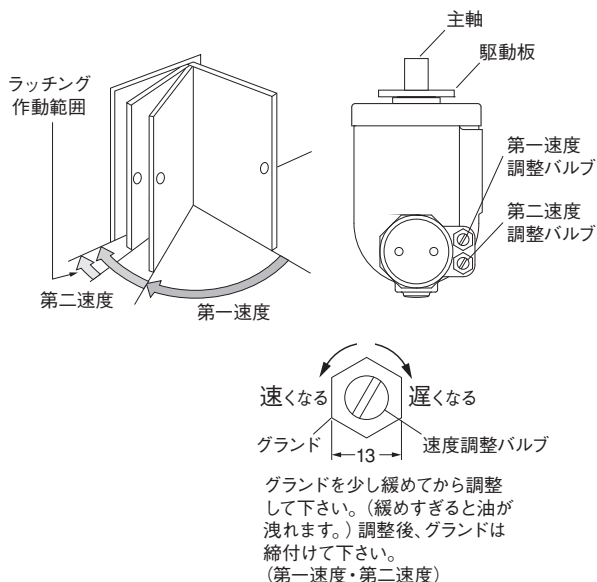
④ 駆動板のセット要領

駆動板の凹部に付属レンチの先端を掛け矢印方向に回転(スプリングを巻込む)させ、アームにセットされた駆動板連結ボルトを駆動板の凹部に締めます。

注) レンチで駆動板を回転させる時、駆動板にはスプリング力が加わっています。レンチの掛りが外れますと急激に駆動板が元の位置にもどり危険です。レンチの掛りが外れないよう十分注意して下さい。



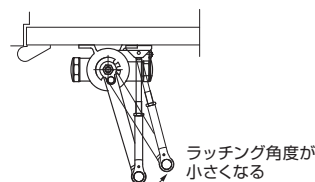
■閉扉速度調整



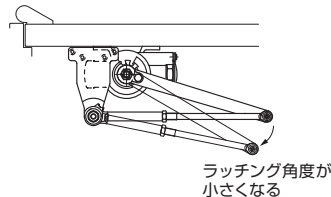
■ラッチング角度の調整

調整ネジ棒をねじ込み、調整を行います。

スタンダード型



パラレル型

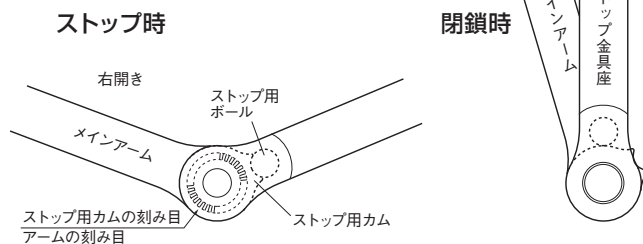
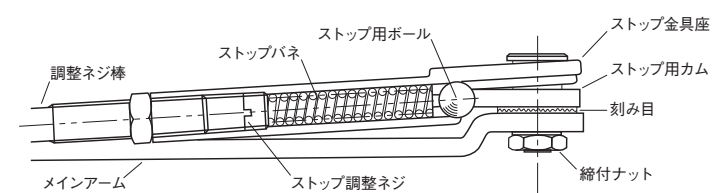


■ストップ角度の設定

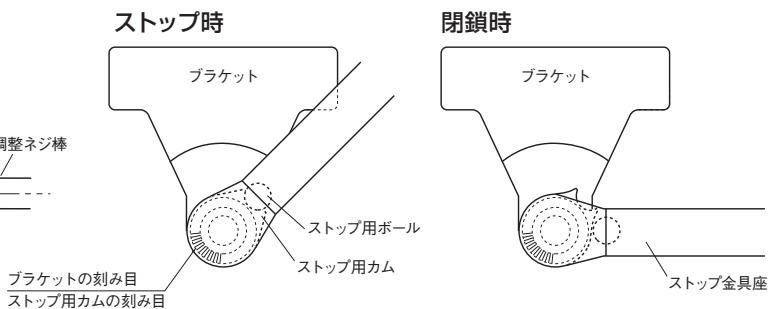
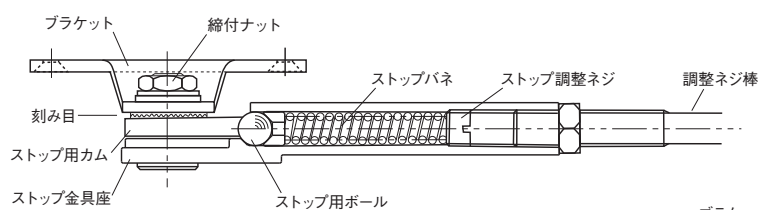
ストップ用ボールがストップ用カムにはまった状態で、ストップさせたい位置までドアを開き、締付ナットを締付けます。(出荷時、ストップ用ボールとストップ用カムははまった状態で、ブラケット、又はメインアームは回転する程度に設定してあります。ブラケット、又はメインアームとストップ金具座の連結部分は絶対に分離しないで下さい。) ブラケット、又はメインアームとストップ用カムの刻み目を確実に噛合せて下さい。
(戻り代がありますので設定した角度から若干戻ります。)

締付ナット寸法 (二面幅) : 17mm

●スタンダード型 70° ~ 120° の任意の角度に設定可能です。



●パラレル型 70° ~ 180° の任意の角度に設定可能です。



■ストップ力の調整

ストップ保持力は最大に設定しています。
弱くしたい場合は、ナットを緩め、ストップ金具座から調整ネジ棒を外し、中にあるストップ調整ネジを左へ少しずつ回して調整して下さい。

